

乗雲

寺報
第132号
R8/3/1 発行

1985/4 創刊

〒959-2646 新潟県
胎内市西栄町 2-8
TEL 0254-43-2419
FAX 0254-43-4560
編集人 広厳寺
住職 神田英俊

メール
otera@kogonji.jp



本堂に掛けてある木版

「慎んで大衆に白す、生死は事大にして、無常迅速なれば、おのおのよろしく覚醒して、慎んで放逸なることなかれ」
六祖壇經
禅寺で食事の時等、合図として鳴らすための木版がある。そこには右の偈が書かれてある。六祖壇經という經典にある「無常迅速の偈」であります。

永平寺の二祖懷奘禪師には師である道元禪師のもと、修行の仕方、心構え、学道の人は如何にあるべきか等を質問をし、その答えを平易な言葉で筆録した「正法眼蔵随聞記」という著書があり、その中にも「無常迅速なり、生死事大なり、暫く存命の間、業を修し学を好まんに、ただ仏道を行じ、仏法を学すべきなり」とある。道元禪師は「生死は一大事なり、刻一刻いのちの時間は減つてゆく、存命の間、日々を疎かにせず、今与えられているいのちを大切に生きよ」「無常迅速の道理をしつかり見極め、ただ仏道を行じ、仏法を学ぶべきである」と説かれている。
修行中に耳に響くこの木版の音を聴くと、「光陰矢よりも速やかなり、時の過ぎてゆくのはあつというまでである、しつかり修行を続けよ」

という道元禪師のみ声が聞こえてくるような気がしたものでした。
令和八年になりました。私も今年七十四歳、人間、年をとるごとに一年がとて速く感じられます。自分に残された人生はあとどれくらいだろうか。この木版の偈を見るたびに、時間の大切さ、いのちの大切さを感じています。



二祖懷奘禪師七百回大遠忌
昭和55年 (1980)

大本山永平寺では令和十二年(2030)、二祖懷奘禪師の七百五十回大遠忌を迎える。昭和五十五年(1980)安居修行中に七百回大遠忌法要が厳修されているので、早くも五十年を経たことになる。八十に手の届く年齢となるが、この五十年に一度の大法要には何とかお勤めできれば幸甚と思っている。「生死事大なり、無常迅速なり」無駄に時を過ごさず一生を送りたいものです。

令和八年 年回忌表

「回忌」	「没年」
一周忌	令和七年
三回忌	令和六年
七回忌	令和二年
十三回忌	平成二十六年
十七回忌	平成二十二年
二十三回忌	平成十六年
二十七回忌	平成十二年
三十三回忌	平成六年
五十回忌	昭和五十二年
百回忌	昭和二年

▼令和八年度(2026)の年回忌表です。
当寺では個人情報保護の観点から本堂には張り出ししていません。年忌に当たられている各家には次年度分として昨年十一月中旬に通知してしますのでご確認ください。▼日曜・祝日のご法事の申し込みはお早めにお問い合わせいたします。▼「周」は「めぐる」ことを意味する言葉で、亡くなってからちようど一めぐりした翌年のその日を一周忌と呼ぶ。回忌とは亡くなられた日を最初の忌日と考えて、三回目の忌日が「三回忌」となる。以降は九六年目が七回忌、九十二年目が十三回忌となる。

新年役員会開催

一月十八日(日)午前十一時より本堂に於いて新年役員会を開催いたしました。定刻、住職挨拶、総代長榎本善一氏挨拶の後、退任役員及び新役員の紹介、委嘱状授与、令和七年度の行持報告、永代供養墓「涅槃聖苑」の活用状況説明、令和七年度護持費納入状況、令和八年度の行持予定等の説明後解散となりました。尚、会議後の懇親会はなしてお弁当持ち帰りとなりました。

▼この度、西条町役員として尽力された渡邊虎雄氏が退任されました。長年の功に感謝申し上げます。▼西条町新役員として桑島敏雄氏が就任され委嘱状が渡されました。よろしくお願いいたします。

永代供養墓地「涅槃聖苑」

▼継承を前提としない永代供養のお墓ですので、予め定められた供養金を納入すればその後の維持管理費もありません。少子化により先行きに不安がある方、お一人様やご夫婦での申込みができます。▼代々続いてきたご先祖の墓終いをして、永代供養の申込みの場合はご先祖分の場合には最初から合祀となります。

▼新しく亡くなられた方については、ご遺骨を骨つぼに収め個々の区画に安置します。七回忌を目途に合祀します。▼檀家登録をしてお墓のみ利用することも可能です。個人で墓石を建立する必要がなく、墓石工事代もかかりません。個別で使用できるマンションタイプのお墓です。

お檀家として個別場所を使用されていても、将来永代供養となる場合には永代金をご納入いただければそのまま使用できます。▼当寺では永代供養の方の位牌壇を設けてあります。お位牌には仏さまの弟子となつたことを意味するお戒名が記され、いつでもお墓と併せてお参りできます。また、毎日朝の勤行にてご命日に当たられている方のお戒名を読み上げてご供養しています。▼お墓の氏名板には俗名で石板に刻字してあります。尚、ご先祖の場合は代表者の氏名を貼付いたします。▼令和八年二月現在で、十六件(個別安置十三件、合祀三件)の申込みがあります。その内の四件は檀家登録をし、個人のお墓を建てないでこの涅槃聖苑にお骨を個別安置されています。

永代供養合祀墓
涅槃聖苑
ね はん せい えん



曹洞宗に帰依して供養を受けたい方はどなたでもご納骨できます。亡き人の心安らぐ悠久の住処です。

個別安置場所
合祀場所

永代供養合祀墓とは、合同で入るお墓です。墓内には個別安置場所と合祀(一緒にお祀りする)場所が設けてあります。近年の核家族化、少子化、高齢化に伴い、お墓も後継者不在の問題が増えてきています。現代の寺院の役割として、また、お墓継承のごことで悩まれている方の一助になればと思い建立いたしました。ご縁をいただければ幸甚に存じます。なお、詳細はお寺にお問い合わせください。



(宗)曹洞宗 広厳寺
〒959-2646
新潟県胎内市西条町2-8
☎0254-43-2419
✉otera@kogonji.jp
https://www.kogonji.jp/



耕雲寺傑堂能勝大和尚六百年遠忌
御本寺村上市門前耕雲寺様(住職菊地光彦師)では、本年、二世傑堂能勝禪師六百回忌の正当を迎えるにあたり、開山忌(梅山開本大和尚示寂忌九月六日逮夜、七日正当)に併せ報恩の遠忌法要を厳修する。

子ども禅の集い開催

期日 九月十二日(土)
会場 広厳寺
対象 小学生三十名
主催 第十七教区寺院

*詳細は次回乗雲でお知らせします。

和尚さんの言の葉

曹洞宗新潟県第四宗務所(所長新潟市観音寺住職阿部正機師)では宗務所管内寺院によるテレホン法話を聴くことができます。

新潟県曹洞宗第四宗務所
テレホン(WEB)法話
和尚さんの言の葉

テレホン法話 電話番号
0250-47-3132

第四宗務所ホームページ内でも法話を聴くことができます。こちらのQRコードをスマートフォン、パソコン機能を使って読み取ってください。(4/12)



不思議な同行二人

雲泉寺住職 神田恭真

私たちは人生の中でどう生きればよいのか、何を支えにして生きればよいのかを考えることがあると思います。曹洞宗ではお釈迦様・道元禅師様・瑩山禅師様を一仏両祖として敬い、その慈悲深い教えを抛り所とすることで、心を落ち着けて日常を過ごすことができている。

私は四国八十八カ所霊場を巡礼した時の不思議な体験があります。徳島県から歩き始めて、バスや電車を利用しながら一カ月で巡礼を終えました。札所に着いたらまず線香・灯明・お賽銭を上げ、納め札を納めます。それから般若心経をお唱えして参拝します。この巡礼の道は総距離一千四百キロメートルに及び、山道も多く天候にも左右されて険しいですが、ゆっくりと自分の心を照らす光がさしてくるかのようでありがたい道のりです。

愛媛県の標高の高い場所にある札所に向けて、登山口から歩き始

めたときのことでした。犬が私に付いて来たのです。その犬は私の前に立って山道の先導を始めました。私が止まれば止まり、歩くと一緒に歩き始めます。参拝している時も近くで伏せて待っています。帰り道も一緒に、登山口まで帰ってきたところで自然と離れていきました。遍路には先達といって弘法大師への信仰を抛り所とする指導者がいて、巡礼の人に道案内や助言を行います。また同行二人という言葉もあり、たとえ一人で歩いていても常に弘法大師がそばにおられるという意味があります。まるで先達のような犬は同行二人の教えを丁寧に教えてくれたのです。

一仏両祖は同行二人のように私たちをそばで見守っています。そしてどんなときも心の抛り所になり、一緒に険しい道乗り越えて、明るい場所へと教え導いてくれているのです。

*この法話は令和八年一月二十一日より三十一日までの新潟県第四宗務所テレホン法話(和尚さんの言の葉)のお話を掲載しました。

口境内風景

十一月 除雪機点検

J A 農機具センター

十一月 消雪パイプ工事及び点検

宮島工業所

十一月二十七日 本堂荘厳外し

十二月十八日 堂内防火設備点検

菖菜ライフ

十二月十八日 参道・中庭清掃

十二月十九日 柴橋庵清掃・点検

十二月二十八日 正月準備

本堂、位牌堂、稲荷



仏事の知識

日本の禅宗

日本における禅宗は鎌倉時代初頭に中国から伝わった臨済宗(りんざいしゅう) 開祖・栄西禅師)と曹洞宗(そうとうしゅう) 開祖・道元禅師)があり、さらに江戸時代になって隠元禅師によって黄檗宗(おうばくしゅう)が伝えられた。この三つを禅宗と呼んでいる。臨済宗は江戸時代に白隠禅師によって確立され、現在は十四派に分かれている。「公案」と称する禅問答を重んじる。曹洞宗は「只管打坐」(ひたすら坐禅に打ち込むこと)を旨とする。本山は福井県大本山永平寺、神奈川県大本山總持寺。黄檗宗は中国(明代)様式を取り入れ、読経も儀式も独特である。三宗共に「坐禅」を主とし、静けさや心の落ち着きの中、日常の立ち居振る舞い、行動全てが禅であり、今この瞬間を丁寧に生きることを読む。

*今までの仏事の知識は当寺ホームページでご覧いただけます。

仏事の知識



広厳寺研修旅行ご案内



高山千光寺 円空仏
パンフレット ⇒



円空仏・千光寺参拝と
高山散策・下呂温泉の旅

期 日 令和八年五月二十日～二十一日
旅 費 四万九千円
人 数 二十名
申 込 金 一万円 (旅費充当)
切 令和八年四月十九日

・物価高で旅費も高騰していますが、当寺では旅行支援割引を実施し、参加される方には当日三千円のキヤッシュバックがあります。詳細は乗雲(令和七年十二月号)折り込み募集案内をご覧ください。

第十七教区護持会旅行ご案内

宇治興聖寺参拝と

京都・湯の花温泉の旅

期 日 令和八年十月十四日
～十六日 (二泊三日)
旅 費 八万六千円
人 数 三十名
申 込 金 一万円 (旅費充当)
切 令和八年九月二十日
*詳細はお寺へお問い合わせください



道元禅師日本初開道場 興聖寺

パンフレット ⇒



大般若祈祷会

期 日 六月十日 (水)
内 容 大般若祈祷、檀信徒供養
法 話 *詳細は次号にて

お寺からのお願いとご連絡

▼位牌堂の各家位牌壇のロウソク、お線香について、お線香は香炉から灰がこぼれないように真っ直ぐに立て、点したロウソクは火災予防の為お参りが済みましたら必ず火を消してください。

▼墓地の自然ゴミ(枯れ枝、枯れ草、枯れたお供えのお花等)は、お寺で業者に依頼して処分しますが、それ以外のお花を包んであった紙、お墓掃除のたわし、雑巾、洗剤容器、ビニール類は捨てないでください。各自持ち帰って処理してください。

▼古い塔婆は、参道中に「古塔婆入れ」を用意してありますのでご利用ください。集落墓地の古塔婆もお持ちください。

▼もうすぐ春のお彼岸です。彼岸中にはお墓、位牌堂にお参りをしてご先祖様をお慰みましょう。

▼墓地清掃は、春彼岸前に行う予定です。

春彼岸、菩提の種を

蒔く日かな

寂光塔 (永代供養墓地)

一人暮らしの方、お墓継承にお悩みの方、お寺が永代にわたり供養いたします。広厳寺ホームページにも詳細が掲載されています。



寂光塔
(永代供養墓地)



動物供養塔 (ペット墓地)

動物のお骨を埋葬いたします。檀家さん以外でも納骨供養できます。



動物供養塔 (ペットのお墓)

